

教科:国語 単元名:図書館で本をさがそう

学年:つくし

タイトル

「生きものクイズ」を作ろう

10のキーワード

・正式な依頼 ・志をともにする

問いストーリー(単元の概要・児童への願い)

<教師のねらい> 本学級の児童は自分で文を考えて書く力が弱いところがある。そもそも文を書くこと自体に苦手意識が強い児童もいる。まずは書く苦手意識を少しでも減らすために毎日連絡帳で「今日楽しかった事」を短文で書くことから始めた。学年の行事があった際は、学校に戻ってから、振り返りの作文を書くことも取り組んでいる。相手意識を持って、必要なことを選び出して書くことを活動に取り入れた。低学年は思・判・表 C(1)ウ「文章の中の重要な語や文を考えて選ぶ出すこと」、高学年は思・判・表 B(1)イ「自分の思いや考えが明確になるように事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること」をねらいとして本単元を選んだ。

<主体的に取り組む児童の姿> クイズを作るために、図書館で借りた本を使って調べ学習をする。自分の好きな生き物の、みんなが知らないようなことをクイズにする。「問い」と「答え」の対応を理解して書く。低学年は○×クイズ、高学年は可能なら、3択クイズで作ってみる。解答について、付け足して説明する文章も作るが、難しい時は高学年や教師の手を借りながら、文章を考え、作っていく。

単元計画

授業概要

- | | |
|-------|---|
| 1 | クラスで、自分の好きな生き物の名前をあげていく。クイズを作ることを知る。クイズに出す生き物をいくつか候補を挙げる。 |
| 2 | 図書館で生き物について借りた本を読む。どの生き物をクイズにするか一つに絞る。みんなが知らないことをクイズにする。もしくは、体の一部をクイズにする。調べたことをメモに書く。 |
| 3(本時) | 教師が見本としてクイズを出す。クイズを作る。「問題」「答え」「説明」に分けてクイズの文章を考える。クラス内でクイズを見せ合う。前時でのメモをもとにクイズを作ることができた。各々「問題」に対しての「説明」する文章も書くことができた。 |
| 4 | どうしたら相手にクイズが見やすくなるか工夫する。画用紙に書いたり、生き物の写真を撮ったりする。 |
| 5 | 友だちのクイズを聞く。感想を言ったり、アドバイスをしたりする。 |
| 6 | 他のつくしのクラスの子にクイズを出す。家の人にもクイズを聞いてもらう。振り返りをする。 |

